



スタート前、壮絶な位置取り争い



左から石川あゆ美選手、岩本沙織選手、大熊典子選手



少年男子FJ級の出射亮選手(左)と高祖将太選手

あなたがキラリ☆ みんなが頑張り みんなが輝いた

セーリング競技大会期間中、47都道府県から参加した選手・監督をはじめ、応援に訪れた観客など約7,000人の大会参加者の皆さんを迎え、大会は大いににぎわいました。

この大会では、準備の段階から市民をはじめ、関係機関・団体、ボランティアの皆さんに多大なご協力をいただき、大成功を迎えることができました。

セーリング競技に出場した岡山県選手団の皆さんは、それぞれの種目で優秀な成績を収め、天皇杯2位、皇后杯優勝という快挙を成し遂げました。

瀬戸内市から出場した出射亮さん(18歳・牛窓町長浜)・高祖将太さん(18歳・牛窓町牛窓)・ペアは、少年男子FJ級4位。矢尾瞳さん(17歳・邑久町大窪)は、少年女子FJ級で7位の好成績を残しました。

競技に熱く燃えた選手たち、一生懸命応援した地域の皆さん、汗をぬぐいながら頑張ったボランティアの皆さん。いろいろな思いで過ごした国体。レンズを通してとらえた国体を写真で紹介しします。

第60回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」夏季大会が9月13日、閉幕。岡山県は過去最高の天皇杯(男女総合成績)2位、皇后杯(女子総合成績)5位と素晴らしい成績を残しました。

瀬戸内市では9月9〜12日の4日間、邑久スポーツ公園でサッカー競技、9月10〜13日の4日間、牛窓ヨットハーバーでセーリング競技が繰り広げられました。

大勢の選手や応援の皆さんが瀬戸内市を訪れ、多数の市民の皆さんがボランティアとして競技補助などに参加し、大会は大成功に終わりました。

競技の模様や選手の皆さん、ボランティアの皆さんの声を紹介します。写真撮影にも、ボランティアの皆さんの協力を得ています。



笑顔満面の矢尾瞳選手(中)と小林華織選手(右)



成年男子の入澤賢治監督(左)と少年男女の池上亜樹監督が2人でガッツポーズ



レース後見せる安どの表情



レースの合間に「ニコッ！」



エールは選手の心の支え



あなたがキラリ☆